

1年C組拡大クラス会（2025. 11. 14）

11月14日夜、毎年恒例（高齢とも言える）となっている千葉高昭和43年卒業組の1年C組クラス会が東京駅近くの「うすけぼー」昭和通り日本橋店で開催されました。出席者は、市毛君、奥山君、高橋英二君、篠崎君、金澤（小沢）君、宇井君、川名君、白井君、山本和夫君、竹内君、日暮、それに紅一点で、1Cでないのに西田恵美子さんにも参加していただきました。ほとんどの人が来年喜寿という年齢。そろそろ出席者も生き残り競争を勝ち抜いた感のある年齢ですが、皆さんお元気そう。遠方組では、毎年参加いただく福井の奥山君のほか、今年は特に北海道の室蘭在住の市毛君も久しぶりに来ていただきました。

子供自慢、孫自慢はあまりなかったのですが、この歳だけに相変わらず“病氣自慢”の話。小生などは、各各方の残りの人生どう生きるかを聞いたかったのですが、その点では不十分な感じでした。ただ、1Cクラスで教室のどの辺にいたかとか、近くにだれが座っていたかとか、菊池久治先生の国語の授業は面白く高校に入って最初の衝撃だったとか、50メートルプールわきの原っぱで弁当食べたねとかの昔話に花が咲いたのは良かった。

奥山君が1Cクラス会の開催日、出欠状況の年譜を作っていました。今回は1Cにいた女性が不参加だったのは残念です。（日暮記）

